

カトリック福岡司教区 DIOCESE OF FUKUOKA

カトリック福岡司教館
810-0028 福岡市中央区浄水通 6-28
TEL 092-522-5139 fax 092-523-2152

Bishop's House
6-28 Josuidori, Chuo-ku
810-0028 Fukuoka, JAPAN

福岡、2021年1月28日

奉献生活の道を歩んでいる兄弟姉妹の皆さん

主の平和

2月2日は「奉献生活の日」になっています。皆さんと共に感謝のミサを捧げたいのですが、新型コロナウイルスの感染状況が続いている中で、今年は残念ながら不可能です。来年の教区予定表に入れたいと思います。皆さんとともに与えられた召し出しを感謝し、神様の恵みを願いながら、奉献生活の道を忠実に歩む決意を新たにしたいと思います。

わたしは、福岡教区に来てから9ヶ月が経っていますが、奉献生活に召されている方々との集いを持つことがまだできなかったのです。近いうちに何らかの形でそれを実現したいと思います。

ベネディクト16世教皇は、修道会の総長たちとの集いの中でこう述べられました。「奉献生活は、清貧、貞潔、従順の生き方を選んだ主イエス・キリストにその原点があります。だから、奉献生活が教会でなくなることはありません。主御自身がそれを教会の大事な部分として定めたからです」。励ましになると同時に厳しい問いかけを投げていることばです。

修道会の人数は日本で少なくなってきましたが、教会においても、社会においても、奉献生活は大事な役割を担っています。それは、人間の心にある渇きと、神への憧れを現す生き方であり、また、イエスご自身が選んだ生き方を思い起こす使命を与えられているからです。聖アンブロジヨはきれいな表現を残しました：「教会は月のようなものです。自分自身の光がありません。太陽の光を反射するだけです。教会はキリストの光を反射する共同体です」。修道者は、キリストの光に包まれた生き方を通して、人間の渇きを満たす神の現存を証するのです。これこそ、奉献生活の基本的な使命です。これに加えて、皆さんが、様々な奉仕や活動を通して教会が与えられている宣教の使命に大きく貢献していらっしゃいます。心から感謝いたします。福岡教区にとってとても大事な存在です。

皆さんの上に神様の豊かな祝福を祈ります。



ヨゼフ アベイヤ
福岡教区司教